

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566) 22-2111  
FAX (0566) 25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 太田 宗一郎  
幹事 杉浦 文雄  
会報委員長 小川 耕示

2010 ~ 2011年度 国際ロータリー Ray Klinginsmith (レイ・クリンギンズミス) 会長テーマ

Building Communities Bridging Continents 地域を育み、大陸をつなぐ

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2690回例会プログラム

[当年度 = 9 回目; 当月 = 2 週目]

2010年 (平成22年) 9月13日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉
  - 12:28 1. チャイム
  - 12:30 2. 点鐘……〈会長〉
  3. 開会宣言
  4. ロータリーソング斉唱……我等の生業
  5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
  6. 食事
- 12:45 7. 副会長挨拶並びに会長報告
8. お祝い  
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(9/20) ……休会 (法定休日)  
(9/27) ……クラブフォーラム (IT委員会)  
卓話 「クラブ内へのメール普及」  
講師 会報・IT委員長 小川 耕示 会員
2. クラブフォーラム……………〈新世代委員会〉
  - 13:00 卓話 「RYLA について」  
講師 地区 RYLA 委員会  
委員 北 登一 様 (名古屋南 RC)  
(紹介者 毛受 豊 会員)
  14. 謝辞
  15. 点鐘……〈会長〉
  16. 閉会宣言
- 13:30 17. 散会

## ビ ジ タ ー

杉原 透恭 様 (知立 RC)

## 出 席

会員総数 93名 出席免除 26名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 84名  
欠席 13名 出席率 84.52%  
前々回 (8/30) の修正出席率 100%

## 会 長 報 告

1) 田嶋ガバナーより公式訪問のお礼状がまいて  
おります。

## 幹 事 報 告

- 1) 先日ひかりの家バザー協力ありがとうございました。又、ひかりの家よりお礼状がまいて  
おります。
- 2) 本日テーブルの上に配布させていただきました知立ロータリークラブ20周年記念事業、講演会、  
よろしく願いますとのことです。
- 3) 三河安城ロータリークラブより「私達の暮らしと生物多様性」のタイトルで講演会開催案内が届  
いておりますのでご案内申し上げます。
- 4) 次週20日は休会、27日例会は昨年続きカレー  
デーになります。今回会長のロータリーを楽しく  
の1つと致しまして30分ほど前からカレーが用意  
されられました方からカレーを食べながら楽し  
めるようにしてありますのでよろしくお願いしま  
す。

## 副会長あいさつ

### 私のお話

霜出 俱弘



本日は太田会長がお休みですので、副会長の私が代理を務めさせていただきますのでよろしくお願い致します。

皆さんにはあまり縁のない事かと思いますが、過去50年以上ほとんど仕事で日本の中を車で移動して経験

して来たことの一部をお話しようと思っています。

当社の営業所所在地の遠方は、西は北九州、東は平塚、北は奥州です。又当社の得意先は都市部の周辺です、したがって挨拶回りするのも車で移動した方が便利です。私事ですぐ父親の出身地は鹿児島県の南九州市です、又家内の在り所は青森市です。

前置きはこれぐらいにして、話に入りますがなぜ車で移動するかと言えば、私の我がまま、永年の事ですので癖になってしまったと思います、また初めて挨拶に御邪魔した時は先方に強烈なインパクトを与えるようです。この続きはまた機会があればお話させていただきます。

## 喜寿のお祝い



平野 和一 会員

## 古希のお祝い



神谷 龍司 会員

## お祝い

9月の会員の誕生日…鈴木孝平、黒田義之、市川裕士、平野和一、羽田育哉、石原鈞、三ツ松芳隆、中村美智雄、神谷龍司、前田孝司、佐久間正人、鈴木豊、出口達也、吉岡秀記、浅井裕章、宮廻和正会員。

配偶者の誕生日…石原章代（鈞）、黒田悠子（義之）、渡辺千枝子（富香）、廣根典子（実）、深谷慶子（稔彦）、今村典子（順）、横山知子（宜幸）、兵藤千香（文男）、天野武彦（櫻子）、中松妙子（健一）様。

結婚記念日…加藤繁則、伊藤節夫、黒田義之、山下雅則会員。

9月度入会記念日…鈴木孝平、杉浦芳一、加藤哲也、深谷稔彦、野村紀代彦、権田銀弘、南健会員。

## クラブフォーラム

### 「RYLA あれこれ」

地区 RYLA 委員会  
北 登一様



当クラブで大切な例会の時間を地区 RYLA 委員会にお与えいただき、当クラブの方々に厚く御礼申し上げます。

歴史あるクラブでの卓話を地区 RYLA 委員会にて当方に割り当てられました、当クラブにおいて凡

人の私が新世代について語らなくても、当クラブには野村パストガバナー始め現地区青少年交換野村副委員長が在籍されてみえます、クラブに改めて卓話をさせていただくことに背筋が寒さを感じて身震いを感じておりますが、ロータリーの友情にてご容赦をいただきますようお願い申し上げます。

ロータリーには、大きく分けますと2つの奉仕部門に分けることができます。

1つは飢餓、貧困への救済、環境問題、もう1つが、青少年健全育成事業であります。

この青少年健全育成事業を担当する委員会が本年度当地区では IA/RA/RYLEA/ 青少年交換の4つに分割されました。

ご承知のように、国際ロータリーの奉仕事業のほとんどが新世代向けの奉仕活動であります。IAC 活動、RAC 活動、RYLA 活動、青少年交換活動、米山奨学、財団奨学は、ほとんどが青少年達の健全育成事業であります。

ロータリー財団が最も努力を進める、ポリオプラス、識字率、水問題、井戸掘削事業、WCS の現地学校建設等、特に近年国際ロータリーは、青少年健全育成支援プログラムに主力を傾けていると良いほどであります。

すべての青少年育成事業は、その成果の現れは将来的で事業結果も不透明であり、けっして数値で図ることのできない、未確認が存在する事業であることは現実です。

新世代事業プログラムが、ロータリーの奉仕の精神に基づき、貴重なクラブ会員の浄財を使い、自らの委員活動に、いかに心血を注いでも、速やかにその成果を識別し、追求することは困難である現実を承知した、未来へ向けて成果を託す青少年健全育成事業である限り当然の理念であり摂理です。

また、その委員会事業プログラムの恩恵を受けた、青少年達が、果たして将来どう成長していくのかも予測できないものであり、そして、その恩恵がどのように青少年達の将来に活かされていったのかどのような影響を与えたのかも現実的に、数値で図り知る余地もありません。

将来、成長した彼等の姿に接し、ロータリー自らが、何を感じ、何を思うか、自己判断の現実が存在するのみであり、その全ての、如何なる判断結果もロータリー自身が享受し、将来の奉仕事業の糧とすべきものであります。

ロータリーの奉仕の精神は、崇高なもので、その事業結果の不透明さの現実や、計り知れない未知なる数値の壁に、絶望することなく、自らの奉仕の理念実践することに何の戸惑いもなく、決して挫折をしたり、放棄をする理念は存在しません。

国際ロータリーの青少年育成事業の現実の在り方と、理念であります。

われわれの奉仕理念とは、ロータリーの青少年健全育成プログラムを通して、将来の未知なる若者たちに、貴重な浄財を使ってでも、ロータリアン自らが奉仕の汗をかくてでも、青少年達に、将来の社会生活において、よき社会人となり、よき社会の指導者となり、よく地域文化の伝承を継承し地域に貢献する人材の育成を願う理念であり、同時に、倫理観の高い人格者としてロータリーの奉仕の精神を継承し、各分野での奉仕のリーダーへと成長することを願い、期待を託し、その実現に向けて、ロータリーの心血を注ぐ奉仕の実践の姿であり、行動する勇氣と実行力の理念であります。

知人の青少年保護活動をしている方から、青少年の現状を見ると、時間的に非常にゆとりがない現実がある。また、高校生ぐらいの年代で、大人として出会う人が親と学校や塾の先生しかいないという現状もある。子どもたちは、じっくり悩み、試行錯誤の過程を経てそれを解決するという経験を重ねることに欠けている。また、時間的、空間的ゆとりのないところで、心のゆとり、思いやりは生まれない。ゆとりのある中で様々な試行錯誤を経ながら、様々な人と触れ合い、スポーツ、芸術、ボランティアなど学校以外の様々な活動にも参加し、それが社会的に評価されるような社会にする必要がある時代ではないでしょうかと話されてみえます。

そこに我々ロータリーが少し手を貸して青少年を理解する行動が彼らに希望を与えることができるのではと考えています。

地区 RYLA 委員会の事業には 3 つの事業があります。

#### 1. RYLA セミナー開催

Rotary Youth Leadership Awards

ロータリー・ユース・リーダーシップ・アワードの

略語です。

この事業の主管は当該年度のガバナーで主催は RYLA 委員会であります。現在当地区は 1 泊 2 日にて開催致しております。

セミナーの参加者対象者は 18 歳～ 30 歳でロータリーとかかわりの無い地域の青少年達とインターアクトクラブ会員、ローターアクトクラブ会員、青少年交換学生であります。

\* この事業はガバナー主管事業のために、各分区の輪番で、その担当年度の分区よりホストクラブが委嘱されます。委嘱されましたホストクラブは、会場確保・会場設営・宿泊・飲食等の提供・安全確保・衛生管理等を主体に担当していただきます。

セミナーの養成指導・進行内容等に付きましては、地区 RYLA 委員会にて思考致します。

本年は愛知県青年の家（岡崎市）にて平成 23 年 2 月 26・27 日に開催

#### 2. 国際 RYLA 派遣事業

毎年 6 月に開催されます、ロータリー国際年次大会の前に開催されます国際 RYLA への参加資格が与えられます。予定では国際 RYLA は 2011 年 5 月 19 日～ 21 日開催派遣生にはロータリー国際年次大会に出席義務があります。

#### 3. RYLA 顕彰事業

地域で顕著な活躍している青少年とグループを公に表彰することを事業として行っておりますと共に各項目で地区内クラブのご協力をお願いしております。